

報道資料

《問い合わせ先》

奈良県総務部知事公室 奥大和移住・交流推進室

交流推進係 担当:丸岡・伊東

TEL:0744-48-3016(内線 3410・3413)

FAX:0744-48-3135

MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館

吉野町・天川村・曾爾村 (10/3～11/15) 開催

今秋、吉野町・天川村・曾爾村を会場とした芸術祭「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」を開催します。

今年初めての開催で、各エリアにおいて、自然に包まれながらアート作品を鑑賞・体験いただくことで、普段は意識しない自然や人々との関わりによって関係人口（観光以上移住未満の地域に多様に関わる人々）を生み出すことを目的とした、関係人口創出型の芸術祭です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、感染予防対策を行ったうえで開催いたします。

【開催概要】

会 期：2020年10月3日（土）～11月15日（日）

会 場：吉野町・天川村・曾爾村

入場料：無料

主 催：奥大和地域誘客促進事業実行委員会、奈良県

協 力：株式会社ヤマップ

プロデューサー：齋藤精一（ライゾマティクス・アーキテクチャー代表）

キュレーター：林曉甫（特定非営利活動法人インビジブル 理事長）

参加アーティスト：井口皓太、上野千蔵、oblaat、菊池宏子＋林敬庸、木村充伯、毛原大樹、齋藤精一、坂本和之、佐野文彦、力石咲、中崎透、西岡潔、ニシジマ・アツシ、細井美裕、他

※その他詳細は別添資料をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の発生状況等によって、イベント内容が変更になる場合がございます。

問い合わせ先：奥大和地域誘客促進事業実行委員会事務局

(奈良県総務部知事公室 奥大和移住・交流推進室内)

TEL 0744-48-3016

ウェブサイト：<https://mindtrail.okuyamato.jp> ※詳細は8月末公開予定



MIND TRAIL
奥大和 心のなかの美術館

OKUYAMATO MIND TRAIL
Museum in your mind

概要お問合せ：奥大和地域誘客促進事業実行委員会事務局（奈良県総務部知事公室奥大和移住・交流推進室内） tel：0744-48-3016

広報お問合せ：株式会社いろいろ press@iroiroiroiro.jp tel：090-7947-1289

MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館 4つの見どころ

1、コロナ禍での企画、with コロナで開催される芸術祭

多くの芸術祭がコロナの影響で中止となっていますが、本芸術祭は広大な地域で三密を避け実現する芸術祭です。五感でリアルに体感できる芸術祭を開催します。

2、歩く芸術祭

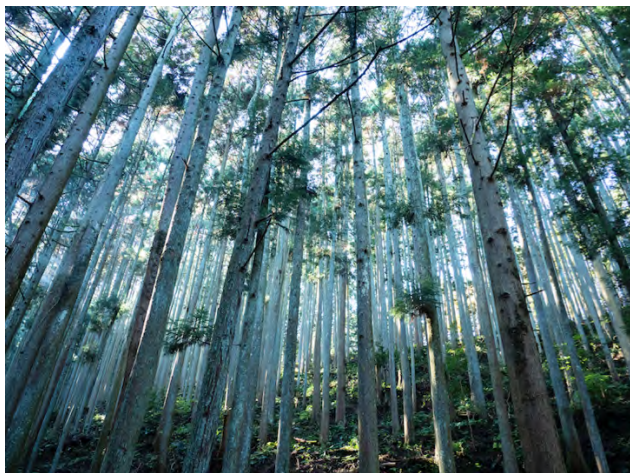
3つの地域（^{よしのちょう}吉野町、^{てんかわむら}天川村、^{そにむら}曾爾村）それぞれ3~5時間ほどかけ、自然に包まれながらアート作品を鑑賞・体験します。

3、関係人口の創出を目的とする芸術祭

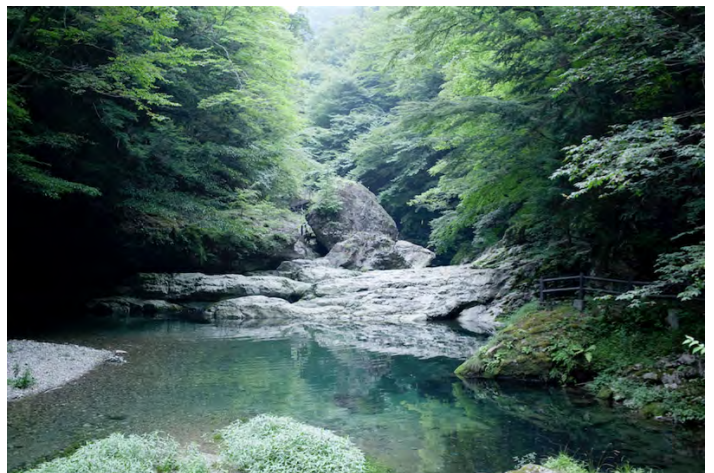
鑑賞には時間をかけて歩くため、複数泊が必要です。普段は意識しない自然や地域の人々との関わりによって関係人口（観光以上移住未満の地域に多様に関わる人々）を生み出すことを目的とした、関係人口創出型の芸術祭です。

4、世界遺産で行われる芸術祭

世界遺産をはじめ、日本の始まりを象徴する風景を歩くことができる芸術祭です。



会場風景（奈良県吉野町） 撮影：西岡潔



会場風景（奈良県天川村） 撮影：西岡潔

MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館 開催概要

英語表記：OKUYAMATO MIND TRAIL Museum in your mind

会期：2020年10月3日（土）～11月15日（日）

会場：奈良県 ^{よしのちょう}吉野町、^{てんかわむら}天川村、^{そにむら}曾爾村

入場料：無料

主催：奥大和地域誘客促進事業実行委員会、奈良県

協力：株式会社ヤママップ

プロデューサー：齋藤精一（ライゾマティクス・アーキテクチャー代表）

キュレーター：林曉甫（特定非営利活動法人 インビジブル 理事長）

参加アーティスト：井口皓太、上野千蔵、oblaat、菊池宏子+林敬庸、木村充伯、毛原大樹、齋藤精一、坂本和之、佐野文彦、力石咲、中崎透、西岡潔、ニシジマ・アツシ、細井美裕、他

会期中イベント：詳細はウェブサイトにてお知らせします。

ウェブサイト：<https://mindtrail.okuyamato.jp> *本サイトは8月末公開予定。アーティスト、地域の皆さんへのインタビューなども掲載します。

1 WHY WALK? なぜ歩くのか?

コロナ禍では自分の足で歩いたことで、家の周りや、自分の身体や周辺空間の解像度が上がったことに気がついた人も多かったと思います。同時に、Stay Home 期間中、人は結果として土に触れ、自然を見ることで理由の無い落ち着きを取り戻し「人間とは?」「自然とは?」「環境とは?」「いのちとは?」など答えなき哲学的な問を考える機会にもなりました。

奈良・奥大和の広大な大地を使い、今この時期だからこそ自分の足で歩き、アートを通して身体と自然を感じて欲しい、そのような思いから、歩く芸術祭を広大な奥大和で開催することにいたしました。



会場風景（奈良県吉野町）撮影：西岡潔



会場風景（奈良県曽爾村）撮影：西岡潔

2 WHY ART? なぜアートなのか

今年、多くの芸術祭はコロナの影響で中止もしくは延期になっています。県をまたいで美術館に行くことも容易ではなくなった今、自分を写す鏡もなくなってしまい、何か足りない感情になっている人々が多いのではないのでしょうか。

芸術祭や美術館はそこに行かなければ体験することができません。でもこんな未曾有な状況であるからこそ、自分がいる場所＝心の中に美術館を作ることができるのではないか。アーティストたちがこの未曾有の自粛期間に貯めたエネルギーを、奥大和の自然や大地と共に展示できないだろうか。そんな思いとともにこの芸術祭を始動していきます。

自然から、そしてこの土地に住む人々から、この芸術祭を訪れたみなさんは多くのことを気づかされるかもしれません。

MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館 プロデューサー 齋藤 精一



齋藤精一 ライゾマティクス・アーキテクチャー代表

1975年神奈川県生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科（MSAAD）で学び、2000年からニューヨークで活動を開始。03年の越後妻有アートトリエンナーレでアーティストに選出されたのを機に帰国。フリーランスとして活動後、06年株式会社ライゾマティクスを設立。16年社内に設立された3部門の中のひとつ、「アーキテクチャー部門」を率いる。2020年ドバイ万博日本館クリエイティブアドバイザー。2025年大阪・関西万博 People's Living Lab クリエイター。

デザイン：合同会社 オフィスカンプ（奈良県） <https://officercamp-nara.com>

MIND TRAIL の始まりとなるようなビジュアルを意識し制作しました。円が人を、背景の緑と水がそれぞれ各地域のテーマを表現しています。このクリエイティブが、本芸術祭の入口となり自分に内在する自然を旅するきっかけとなることを願っています。

ロゴ：坂本和之

禅のプラクティスである「円相」をモチーフにしています。「円相」は、かたちのはじまりを意味し、最小限の行為を意味します。自然と人の間に位置する、行為としてのアートをメタファーにしています。

撮影：西岡潔

今回の会場の一つである吉野町をロケ地に、名所ではない場をあえて意識し撮影しました。今回の各地域のテーマである「森（吉野町）・水（天川村）」を表現する風景を撮影しています。



MIND TRAIL
奥大和心のなかの美術館

*新型コロナウイルス感染症の発生状況等によって、イベント内容が変更になる場合がございます。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

*マスクの着用、手指の消毒など皆様のご協力をお願いいたします。

*咳、くしゃみなど呼吸器症状の見られる方や、37.5度以上の発熱若しくは、平時と比較して発熱の見られる方は、ご参加をご遠慮ください。

*主催者が定めるガイドラインを遵守してください。

概要お問合せ：奥大和地域誘客促進事業実行委員会事務局（奈良県総務部知事公室奥大和移住・交流推進室内） tel：0744-48-3016

広報お問合せ：株式会社いろいろ press@iroiroiroiro.jp tel：090-7947-1289